

## J R 小浜線の維持・活性化について国の関与を求める意見書

J R 小浜線は、敦賀・舞鶴間を結び、通勤や通学、日常の移動手段として沿線地域の人々の暮らしを支えるとともに、産業や観光など地域振興に寄与する重要な交通機関である。

さらに、北陸新幹線敦賀開業により増大する観光客の重要な交通手段として期待が高まっており、福井県および沿線市町では「嶺南地域公共交通網形成計画」を策定し、小浜線活性化に向けてこれまでに積み立てた基金を活用して事業を行うなど、福井県および沿線市町が連携してさらなる利便性の向上を図ることとしている。

このような中、J R 西日本においては、新型コロナウイルス感染症拡大による経営環境の悪化により、利用状況に応じたダイヤの見直しを行うとして、減便を前提にしたダイヤの見直しや駅の無人化等を表明したところである。

国においては、沿線市町の重要な交通機関であるとともに、北陸新幹線敦賀開業時の重要な交通手段として期待されている J R 小浜線を維持・活性化していくため、以下の対策を講じるよう強く求める。

### 記

- 1 J R 小浜線の安定的な維持・存続を図るため、国の責任において、減収補填が可能となる支援制度を創設すること。
- 2 新型コロナウイルス感染症の影響を理由とした減便や駅の無人化などの急進的な合理化をすることがないように、国として積極的に関与すること。

以上、地方自治法第 99 条の規定により意見書を提出する。

令和 3 年 6 月 28 日

敦 賀 市 議 会